

## 個別施策評価調書

部長	次長

主管部	科学技術振興部	対象年度	平成27年度
関係部	—		—
	—		—

基本施策	科学技術をまちづくりにいかす		
個別施策	26 科学技術の振興		
個別施策の方向	つくばの世界的な知的集積の強みを活かし、国際戦略総合特区等の科学技術の振興を通じて、イノベーション創出を促進し、経済活性化や社会的課題の解決に貢献する。		
これまでの取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際戦略総合特区における新規プロジェクトを創出するとともに、既存プロジェクトの成果を普及させるため「つくば市生活支援ロボット普及促進事業」を開始した。</li> <li>つくばイノベーションプラザの開設準備とともに、TGI、TIA、国際交流協会の入居調整を通し、特区プロジェクトの推進を図る体制を整備した。</li> <li>「つくば市認定国際戦略総合特別区域計画の推進に関する条例」を2年間延長した。</li> <li>市内各大学や研究機関のそれぞれの特徴を生かしながら、基本協定の締結や連携事業を行ってきた。</li> <li>科学技術イノベーションを創出する優れた人材の育成に貢献するため、科学オリンピック等、科学関連イベントを開催した。</li> </ul>		
市民意識調査満足度	H27	52.2%	H29
	参考値（第3次総合計画市民意識調査結果） 対象施策名：科学技術中枢拠点を支えるまちづくり		

平成27年度決算及び事業費内訳										(単位：千円)
H27年度決算	事業費	39,367	人件費	43,966	事業コスト	83,333				
事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	39,367


個別施策の代表指標名	指標種別	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
国際戦略総合特区に関する新たなプロジェクトの創出数(件)	成果指標	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績	0	1	—	—	—	—
市内大学・研究機関等との新規協定締結数(件)	成果指標	目標値	—	1	1	1	1	1
		実績	1	0	—	—	—	—
		目標値						
		実績						

個別施策の総合評価	
総合評価	A 施策の成果が確認でき、このまま継続して推進させるべきである。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際戦略総合特区において、1つの新規プロジェクト「戦略的都市鉱山リサイクルシステムの実用化」を創出した。また、つくばイノベーションプラザを開設し、複数の研究機関が意見交換等交流を図れる拠点及び体制を整備した。今後は、この拠点及び体制をいかし、新規プロジェクトの創出を図る。</li> <li>科学教育マイスター制度を開始し、2名の研究者を認定するなど、研究機関との連携成果が現れてきた。</li> <li>各種科学関連イベント等を実施し、「科学技術の街つくば」のPRを行うとともに、次代を担う若者の人材育成に貢献できた。</li> </ul>

## 個別事業調書

個別施策	26 科学技術の振興														
個別事業名	26-1	国際戦略総合特区推進事業				担当課	科学技術・特区推進課								
事業概要	<p>(一社) つくばグローバル・イノベーション推進機構を設立し、研究インフラの共用化等の基盤となるサービスの提供を行う。これにより、特区プロジェクト等を推進するとともに、新たなプロジェクトを創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。</p>														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程														
		事業費(千円)	10,100		11,214		14,133		29,237		29,237		29,237		
事業指標	指標名	新たなプロジェクトの創出数(件)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
						目標値	1	1	1	1	1	1			
						実績	0	1	—	—	—	—			
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年4月に、総合特区の新規プロジェクトとして、「戦略的都市鉱山リサイクルシステムの実用化」を追加。</li> <li>平成27年9月、「つくばイノベーションプラザ条例」公布。TGI, TIA, 国際交流協会の入居が内定。</li> <li>平成28年1月、「つくば市生活支援ロボット普及促進事業」を開始。</li> <li>平成28年3月、「つくば市認定国際戦略総合特別区域計画の推進に関する条例」の失効期限を2年間延長。</li> </ul>														
H27年度決算	事業費(千円)	11,214		人件費(千円)	19,091		事業コスト(千円)	30,305		正職員従事割合(人)		2.25			
											時間外勤務(時間)		890.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	11,214	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上（高水準を維持）している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している														
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施														
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度から開始したつくば国際戦略総合特区の取組において、開始当初から取り組んでいる先導的4プロジェクトに加え、これまで4プロジェクトを追加し、計8プロジェクトに取り組んでいる。既存プロジェクトの推進とともに、新規プロジェクトを創出するためには、市内の研究機関の連携強化が不可欠である。そこで、平成28年4月より、つくば駅前に「つくばイノベーションプラザ」を開設し、市内研究機関や企業で構成されるTGI及びTIAが入居、さらにミニセミナー等を通して産学官連携強化の加速に努める。</li> <li>つくば国際戦略総合特区の取組の1つである「生活支援ロボット実用化プロジェクト」から市場に投入されたロボットの市内への普及を図る。</li> </ul>														

## 個別事業調書

個別施策	26 科学技術の振興														
個別事業名	26-2	市内大学・研究機関等との連携事業				担当課	科学技術総合調整室								
事業概要	市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴を生かしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用 													
	事業費(千円)	19,134		28,153		16,370		16,370		16,370		16,370			
事業指標	指標名	新規協定締結数(件)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—		1	1	1	1	1	1					
		実績	1		0	—	—	—	—						
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイレベルフォーラムinつくばの開催(つくば市他7機関)</li> <li>・科学万博30周年記念シンポジウムの開催</li> <li>・「科学の甲子園全国大会」でのエクスカッション(見学)受入の協力(9機関)</li> <li>・「イノベーションキャンパスinつくば」への講師派遣(7名)及びサイエンスツアー受入(3機関)の協力</li> <li>・つくば3Eフォーラム会議の共催</li> <li>・科学教育マイスター制度の創設(2名認定)</li> <li>・基本協定については、1機関と締結に向けた協議を開始したが、年度内の締結には至らなかった。</li> </ul>														
H27年度決算	事業費(千円)	28,153		人件費(千円)	24,875		事業コスト(千円)	53,028		正職員従事割合(人)		3.00			
											時間外勤務(時間)		970.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	28,153	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している														
総合評価	A：成果を維持して継続実施														
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種科学関連イベント等の実施において、関係機関と密な連携をとり事業を成功させる必要がある。</li> <li>・ハイレベルフォーラムの次年度の開催地はフランスとなるので、関係機関と密な連携をとるとともに、更なる国際的な認知度の向上に努める必要がある。</li> </ul>														